



令和2年2月17日
海上保安庁

適切な海賊対処のために

～ジブチ共和国で海賊護送訓練、意見交換を実施～

海上保安庁では、令和2年2月8日～14日の間、ジブチ共和国に星海上保安監他7名を当庁航空機で派遣し、ジブチ沿岸警備隊等との間で海賊護送訓練、海賊対策等に関する意見交換を実施しました。

派遣国においては、逮捕した海賊の身柄を、我が国に護送する必要が生じた際に、迅速かつ円滑に護送できるよう、海上自衛隊護衛艦の協力を得て、ジブチ沿岸警備隊と連携した海賊護送訓練を実施しました。

また、星海上保安監は、滞在中にジブチ沿岸警備隊を所管する設備運輸大臣、ジブチの治安機関を統括する国家治安庁副長官及び沿岸警備隊長官と意見交換を実施し、ジブチ沿岸警備隊巡視艇と当庁航空機を使用した実戦的な訓練の成果を評価するとともに、海賊を生み出す原因が解決していない状況においては、海賊対策が引き続き重要であること及び両国の連携・協力を更に推進していくことを確認しました。

海上保安庁では、海賊に対する法執行活動を適切に遂行するための訓練を継続し、これからも関係機関との更なる連携・協力により、法の支配に基づく「自由で開かれたインド太平洋」の実現に貢献します。

※ 海上保安庁では、ソマリア沖・アデン湾で海賊事案が発生した際の法執行活動に備え、海賊対処に派遣される海上自衛隊護衛艦に海上保安官8名を同乗させています。

1. 派遣航空機

第三管区海上保安本部羽田航空基地所属 ガルフV（うみわし）

全長	29.39メートル
全高	7.89メートル
全幅	28.49メートル
速力	510ノット



2. 派遣国

ジブチ共和国

ジブチ共和国への航空機の派遣は3年ぶり7回目、海賊護送訓練の実施は今回で8回目になります。

3. 派遣者

星 澄男 海上保安監

橋本 昌典 国際刑事課長 他6名（関係省庁職員を含む。）

4. 日程等

10日（月）海賊護送訓練

11日（火）国家治安庁副長官との意見交換
ジブチ沿岸警備隊長官との意見交換

12日（水）ジブチ設備運輸大臣との意見交換

5. ジブチでの海賊護送訓練、意見交換等

	
海賊護送訓練（護衛艦から巡視艇（日本供与）へ護送）	海賊護送訓練（海賊を護送車へ護送）
	
海賊護送訓練（海賊を当庁航空機へ護送）	訓練参加者との集合写真



ジブチ沿岸警備隊長官との意見交換



設備運輸大臣との意見交換